

登録コード	HS430100	開講年度	2026				
授業題目	環境評価学特論				担当教員	荒瀬 輝夫 他	
英文授業名	Advanced Environmental Evaluation				副担当	安江 恒	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)	
	2026HS初, 2025HS初, 2024HS初, 2023HS初						
	【専攻】理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				⇔	理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を身につける。	
(2)詳細/Detailed information	中山間地域の里地・里山から高山山岳からいたる領域を対象に、自然や農林業によって育まれた環境の把握、また自然景観としての資源の利用および環境の保全や修復のための環境評価技術を理解します。						
(3)授業の概要/Overview of course	1 自然環境を評価する手法についての基本的な問題を概説します。 2 A F Cのフィールドを活用して、演習林での調査手法実習や、事前協議により学会参加等学外における授業も活用します。						
(4)授業計画/Course plan	前半 森林環境学・年輪年代学からのアプローチ 後半 環境影響評価・資源植物学からのアプローチ なお、受講者の専門性も考慮して、重点的に行う内容を調整します。 各テーマの講義後、レポート等の課題を課します。						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	レポートによる評価。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある）						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	受講者の専門性を考慮して指示します。						
(8)履修上の注意/Notes	eAPLSやE-mailを随時確認してください。						
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	研究室を直接訪ねていただくか、メールにて対応します。 安江：yasue(at)shinshu-u.ac.jp 荒瀬：tearase(at)shinshu-u.ac.jp						
(10)授業の形式/Course format	オムニバス形式。						
【教科書/Textbook(s)】	指定しない。						
【参考書/Reference work(s)】	指定しない。 必要に応じて紹介・指示します。						